

御嶽山 (みたけさん)

福岡県 宗像市 2025年 7月2日

世界文化遺産登録の中津宮に参拝



「神守る島」筑前大島を目指し、宗像市営大島渡船のフェリー「おおしま」に乗船。

本日のコース <全行程 5時間50分>

神湊(こうのみなど) 港渡船ターミナル 9:05 → 大島港ターミナル 9:54 → 中津宮 10:02
→ 御嶽山登山口 10:20 → 展望台 10:54 <休憩> 11:12 →
御嶽山山頂(御嶽神社) 11:15 → 風車展望所への分岐 11:35 → 牧場 11:41 →
風車展望所 11:54 <昼食> 12:33 → 砲台跡 12:40 → 風車展望所への分岐 13:01
→ 大島港への分岐 13:12 → 大島港ターミナル 13:44 → 神湊港渡船ターミナル 14:55

今回は世界文化遺産で有名な宗像大社中津宮のある筑前大島にフェリーで渡り、その大島最高峰の御嶽山に挑戦する。この島に渡るのは38年振りとなるので、ちょっと懐かしさも感じて楽しみにしていた。ターミナルは綺麗に建て替えられ、大島港周辺も整備されて以前の思い出とはかなり変わっていた。まずは中津宮に参拝し、境内奥から御嶽山を目指した。



神湊港フェリーターミナル横の駐車場に車を停めた 8:47 利用者が多い



フェリーターミナルに直行 8:52 2012年頃に建て替えられたようだ



神湊港渡船ターミナル 9:05 9時25分発のフェリー「おおしま」に乗船



船内はクーラーが効いて快適
大島港ターミナルまで約25分の船旅となる



大島港ターミナル 9:54 38年振りに大島の土を踏む



正面に御嶽山 9:55 すぐにも登りたいが、先ずは中津宮参拝

大島港は見事に整備されている
38年前、大島港のすぐ近くで磯遊びをしたが、磯の風景は無くなっていた。



中津宮の鳥居が見えてきた 10:00 港から 5 分だった



宗像大社中津宮 10:02 官幣大社宗像神社 中津宮の鳥居
鳥居には戦役記念、明治三十七八年と彫られている。日露戦争に出征された方々の奉納。



中津宮 御由緒

境内史跡指定

御祭神は皇祖天照大神の三女神湍津姫神(たぎつひめのかみ) 別の大御名を道主貴と申し上げあらゆる道を司り給う最高最貴の神様をお祀り申し上げます

日本最古の歴史書といわれる日本書紀に 天照大神の神勅によって三女神が宗像の地にお祀りされるようになった事が記されています

氏子は元より全国津々浦々に崇敬があり 春秋の大祭は神人和楽で大いに賑わいます

沖津宮遥拝所は島の北西に位置し視界の良い時は沖ノ島を望む事が出来ます

宗像大神を奉斎する神社は全国に六千余社に及び宗像大社は総本宮として尊崇されています

春季大祭 旧暦 3月15日

秋季大祭 旧暦 9月15日

宗像大社中津宮

宗像大社中津宮は、宗像三女神の次女神・湍津姫神(たぎつひめのかみ)を祀る神で、2017年7月に世界遺産登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の構成資産です。

(ネット調べ)

中津宮は沖ノ島と共通する古代祭祀遺跡を起源とし、大島で湍津姫神をまつる宗像大社三宮の一つです。

(説明標識より)



中津宮 拝殿



中津宮 拝殿の後ろには本殿

現在の本殿は17世紀頃に再建されたもので、福岡県指定有形文化財です。(説明標識より)



御神木の銀杏(イチヨウ)と社務所



中津宮を見学後、境内奥から登山口へ向かう 10:15



中津宮の裏から車道に出て左に進むとすぐに登山口への分岐が現れる 10:17



分岐から坂道を見上げると変わった形をした鳥居がある
看板マップを確認して進む



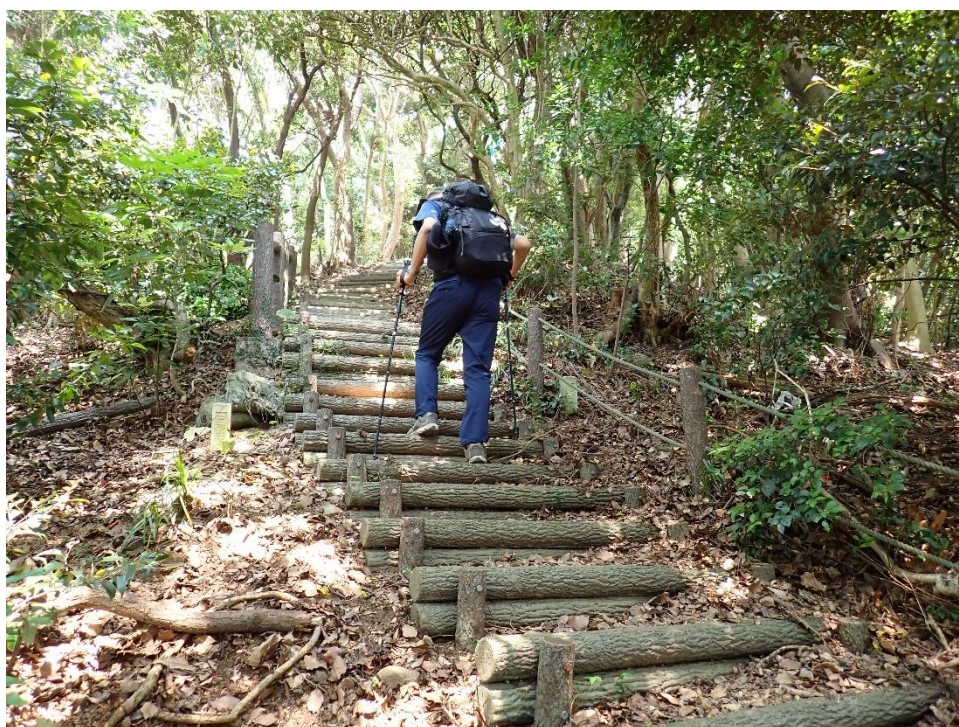
鳥居を潜って進む 10:19



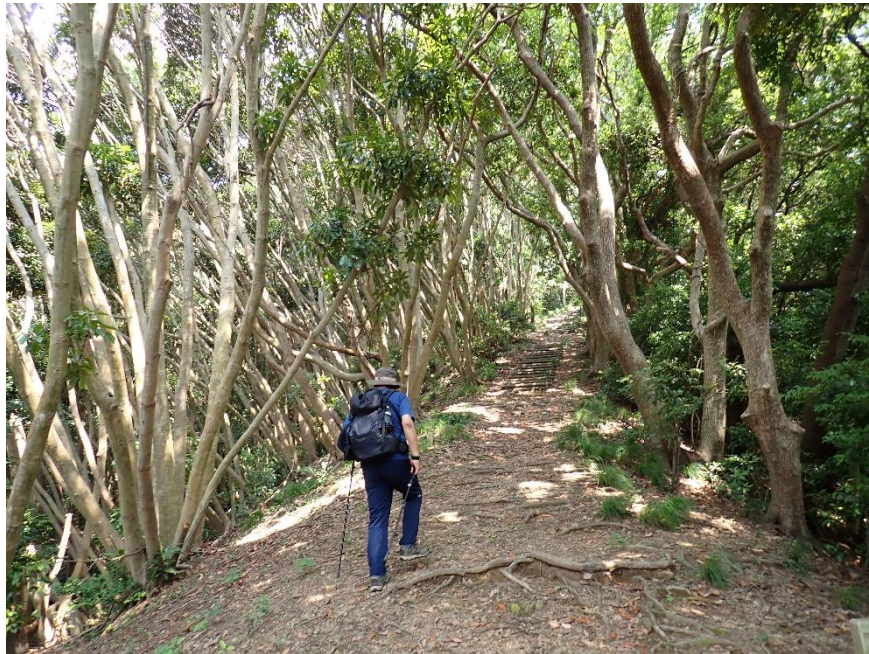
御嶽山の山頂には御嶽神社があり、この登山道が参道になっている



御嶽山登山口 10:20 ここから本格的な登山道となる



最初は木段が続く 10:23



霧囲気の良い樹林帯を進む 10:28 途中でアメリカ人の旅行者と立ち話
T師匠が流暢な英会話で対応
「お天気は良いが曇っていて景色は見えない」とのことだった！



途中でまた鳥居が現れた 10:32 安政時代(1858年頃)に建立された鳥居だった



山頂まであと半分の地点 10:37



ベンチで休憩 10:47 水分補給



展望台にGOAL 10:54 御嶽山展望台に到着



広い山頂展望台は貸し切り 10:57 陽射しが強い
 登山口から37分、大島港ターミナルを出発して約1時間だった。
 ベンチでゆっくり休憩
 歩いた距離は短い、暑さで体力を消耗



雲か水蒸気かPM2.5か？かろうじて港の防波堤が見える程度で、展望は良くなかった。



水平線も確認できない。

大島の最高峰・御嶽山(標高 224 メートル)の展望台は、晴れた日には沖ノ島や地島、相島、長崎の壱岐などのほか宗像の四塚連山、英彦山、背振などの山々、さらには福岡ドームや福岡タワーなどを見ることができます。(ネット調べ) とのことだが、残念ながら視界不良。



休憩した展望台の横から御嶽神社への石段が続いている 11:13
この石段を上ると御嶽山の山頂となるようだ！



御嶽山山頂(御嶽神社) 11:15 244m 参拝
御嶽神社は中津宮の奥宮になる
探し方が悪かったのか？山頂碑は見当たらなかった。

御嶽神社

御嶽神社(みたけじんじゃ)は大島最高峰の御嶽山(みたけさん)に鎮座する宗像大社中津宮と深く関りがあり、広く言えば中津宮の一部と言え、古くから人々の信仰が厚いお社です。

今日でも五穀豊穡・家内安全・入試合格祈願などの願意を込めて祈る人が多く厚い信仰が続いています。 (説明標識より)

北西に沖ノ島、南東に九州本土を一望できる御嶽山山頂で、7世紀から9世紀にかけて奉獻品を捧げた古代の祭祀の跡が見つかっています。 (説明標識より)

御嶽山の山頂も踏んで、これから大島を散策することにした。

大島マップ



現在地は御嶽山展望台、ここから車道を下って分岐へ、そして風車展望台を目指す！

約700m 下ると、広い車道に出た。

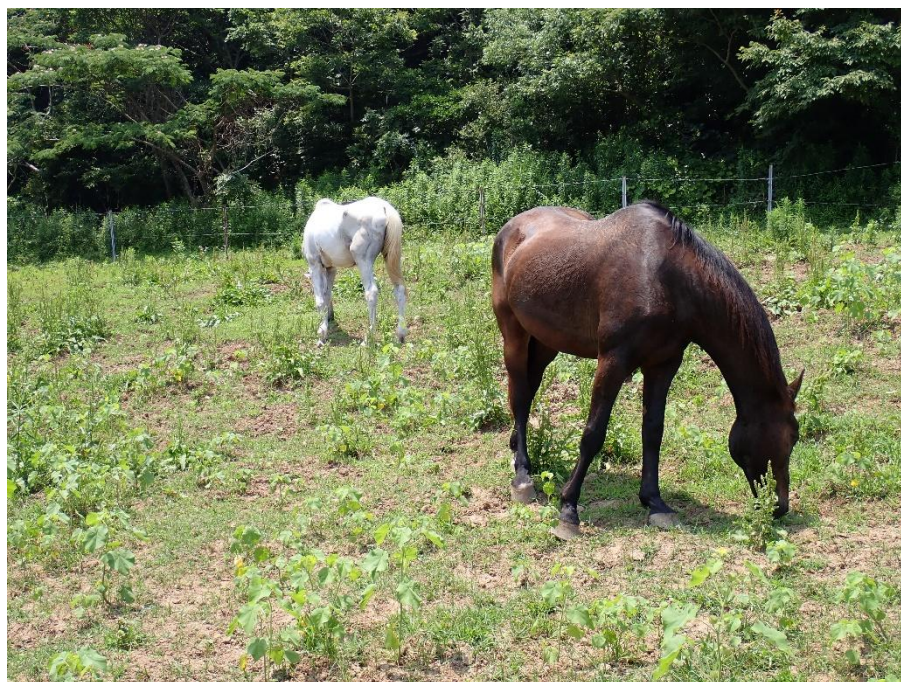


風車展望所への分岐 11:35 広い車道を左に進むとすぐに分岐
風車展望所まで約800m

分岐から6分程歩くと牧場に到着



大島むなかた牧場の入口 11:41 遠くから見たら本物の馬かと思った(笑)
そして左を向くと・・・



本物の馬が草を食んでいた



牧場を通り抜ける



馬たちを見ながらのんびり歩く 11:46



乗馬を楽しんでいる方がいた 11:51 楽しそうだ！



砲台跡を通り抜けて風車展望所に到着 11:54 分岐から約20分だった



風車遠望所からの眺望



ズームアップすると荒々しい海岸線が見えている
1905年5月、日本海海戦の折、大島に多くのロシア兵の遺体が流れ着いたと言われる。



昼食も終え砲台跡を見学することに 12:33 休憩して元気復活



砲台跡の中に入り、窓から風車を望む 12:40



砲台跡の上から風車方面の眺め 12:42



この辺りには合歡(ねむ)の木の花がたくさん咲いていた



宇宙船のようなオブジェ(このオブジェの蔦の葉は造花だった)



砲台跡周辺には合歓の木がたくさん



往路を戻り、**分岐**までやって来た **13:01** 左へ進み大島港ターミナルへ向かう



大島港への分岐 **13:12** 10分程車道を下った場所から、右手の未舗装の道へ



ヤブジラミがあちこちに咲いている



イノシシの罠を二つ見かけた 13:23



再び車道に出て真っすぐ進み大島港へ 13:25 この後、民家の間を進むことになる



大島港ターミナル 13:44 暑くて、暑くてもう歩けません(笑)
この後、クーラーの効いたターミナルの待合室で生き返る



帰りは旅客船「しおかぜ」に乗船 14:32 デッキに出て港を見ると…。
往路に乗ったフェリー「おおしま」、そして本日登った御嶽山が確認できた。



神湊港へまっしぐら！
15分間「しおかぜ」号に揺られて神湊港渡船ターミナルに無事に到着！ 14:55
今回は船旅と山歩きで5時間50分の行程だった
スマホの歩数計は13330歩。
T師匠お世話になりました。
お疲れさまでした。